

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|---|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 8 | | 1 | ・施設の広さは十分であるが、それぞれの指導訓練スペースを確保しているため、「利用者と支援員を含めると、全員で集まる活動に関してはスペースが狭い。」という意見があった。現在は内容により2グループに分けている |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 8 | 1 | | ・通常の放課後活動は6-7名の有資格者を配置し療育にあっている。 長期休暇の外出企画は加配に努めているが、職員数に不安な日もある。安全を優先に事前打ち合わせや予定の変更含め配慮している |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 5 | | ・借家のため大掛かりな改修工事はできないが、昨年度はトイレに手すり設置、板やカーペットで段差解消を行った。今年度は玄関の段差改善と手すりを設置した。今後も必要に応じて、可能な範囲で改善したい |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 8 | 1 | | ・非常勤職員も積極的に参画。情報の共有と療育の質の向上に努めている |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。 | 9 | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 9 | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 5 | 4 | ・第三者による外部評価は行われていない。 ただ、療育に関しては、毎月外部講師による療育の現場検証と課題分析等、勉強会を行ない支援の改善につなげている。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 9 | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 9 | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 8 | | ・過去に数名の利用者に対してPEP-3を実施したことがあるが、現在はインフォーマルなアセスメントツールを使用して状態把握をしている。今後は勉強しながらどのように導入していくかを検討していく。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 1 | | ・常勤職員間でプログラムを立案をしているが、会議等で非常勤職員の意見を反映させている |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか | 9 | | | |

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--|---|---|----|---------------|-----|---|
| 適切な 支援の 提供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 8 | | 1 | ・平日の療育についてはできている。長期休暇については引き続き、活動内容に応じた課題設定を職員間で共有し支援につながるよう努める |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 9 | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 1 | | ・「利用者に関する情報共有について改善が必要。」という意見があった。その都度、口頭で確認しているが課題として検討していく |
| | ⑯ | 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 8 | | 1 | ・支援終了後に全員参加での打ち合わせは、帰りの利用者送迎を実施しているため困難。翌日の打ち合わせ前に振り返りを行ない、気づきを共有している |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 5 | | ・支援内容等、記録に残してはいるが、徹底した記録とはいえない。これまでも課題事項だったことから、支援の検証・改善につながるよう、引き続き工夫していく |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 9 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 9 | | | |
| 関係機 関や保 護者 との連 携関 係機 関や保 護者 との連 携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 9 | | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 8 | | 1 | ・基本的に保護者を通して行っている。送迎時のトラブル等緊急時は、直接学校に連絡して調整している |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか | 9 | | | |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 9 | | ・契約時に保護者からの聞き取りはしているが、事業所との間で直接の情報共有はできていない。今後保護者様から了解いただいたうえで、必要に応じて情報交換できるように検討する |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 2 | 7 | ・まだ卒業生を出していないが今後システムを検討する |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 9 | | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 5 | 4 | ・現在は交流の機会は設定していないが、長期休暇のお出かけ企画は交流の場となっている。今後適切な場の設定を検討していく |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 2 | 6 | ・中学校区地域自立支援から案内があった時は参加している。また傍聴に行ったことはあるが交流の機会はなかった。今後も機会があれば関わりたい。 |

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパンふくおか）

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--|---|----|---------------|-----|--|
| | ⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか | 9 | | | |
| | ㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか | 9 | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | ㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか | 9 | | | |
| | ㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか | 8 | 1 | | ・現在は個別面談や家庭連携支援等で相談に応じて いるが、今後保護者会を開催するなど話し合いの場 を設けるよう努める |
| | ㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか | 1 | | 8 | ・過去には有志による父母の会があったが、今はな くなっている。保護者会の在り方や必要性、内容を 保護者と協働で検討していく |
| | ㉕ 子どもの保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか | 9 | | | |
| | ㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護 者に対して発信しているか | 9 | | | |
| | ㉗ 個人情報に十分注意しているか | 8 | 1 | | |
| | ㉘ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | | | |
| | ㉙ 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 6 | 2 | ・イベントは久しくしていないが、地域（近隣）に法人 通信を定期的に配布している。 ボランティアを積極的に受け入れている |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ㉚ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知しているか | 8 | 1 | | ・職員間ではマニュアル配布し共有している 保護者への周知は、緊急時対応マニュアルのみ説明し 配布している。 防犯、感染症も含めファイリングして再度周知する |
| | ㉛ 非常災害発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか | 9 | | | |
| | ㉜ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか | 8 | | 1 | ・常勤・非常勤による事業所の会議等で研修機会を 確保しているが、一層の周知に努める |
| | ㉝ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載しているか | 9 | | | |
| | ㉞ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか | 9 | | | |
| | ㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか | 4 | 4 | 1 | ・その都度報告して共有しているが、事例集の作成まで 至っていない。今後の検討課題とする |

以 上